

生活と福祉についてのアンケート

ご協力をお願い

三鷹市では、「誰もが安心して暮らせる健康・福祉のまち」になるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。

この度、障がいのある方の今の生活状況や困りごと、福祉サービスに対する要望などを聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすことを目的に、アンケートを行うこととしました。

障がいの有無によって分け隔てられることなく、個性を尊重し、支え合いながら暮らせるまちづくりのため、本アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和7年9月 三鷹市長 河村 孝

パソコン・スマートフォンなど
WEBフォームで回答

どちらかを
選んでください

調査票に記入し
郵送で回答

- 2次元コードを読み取るか、
下記のURLを入力、または
三鷹市ホームページから回答
フォームにアクセスしてくだ
さい



<https://www15.webcas.net/form/pub/kmci/〇〇>

三鷹市ホームページ > 〇〇 >

- 調査票に書かれたログインIDとパスワード
を入力してください。
- 画面に従って回答し、最後に「回答を送信」
してください。

- 調査票に回答を記入してください。
 - 返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポ
ストに投函してください。
- ※ 調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入し
ないでください。

※ 音声読み上げ用にテキスト形式の調査票を
希望される場合は、件名を「生活と福祉アンケ
ー トテキスト調査票希望」とし、本文を空欄で障
がい者支援課 (shien@city.mitaka.lg.jp) まで
「メール」を送信してください

令和7年 9 月 30 日 までに
「回答を送信」または「ポストに投函」してください。

【アンケートに関するお問い合わせ先】三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課

電話：0422-29-9232／ファクス：0422-47-9577／メール：shien@city.mitaka.lg.jp

けっか しょう ふくししやく い
令和4年度に実施したアンケート結果を 障がい福祉施策に活かしています！

アンケート結果から、約3人に1人が、過去1年間に障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあることがわかりました。

New しょう りかい
障がいについて、みんなが理解できるようにしていきます。

- 福祉サービス事業所での活動の様子を紹介するパネル展示を始めます。【令和7年度から】
- 市内在住の方を対象に、ヘルプマークの配布を始めました。【令和6年10月から】
- 障害者週間に合わせ、イベントの周知と、障がい理解に関する記事を市報の特集面で掲載しました。【令和5年度から】



ヘルプマーク



広報みたか：令和6年11月17日号

アンケート結果から、約5人に1人が、どこに相談したらよいのかわからず、困ったことがあることがわかりました。

New そうだん あんしん く
もっと相談しやすく、安心して暮らしやすいまちにします。

- 基幹相談支援センターは、障害者総合支援法に基づき、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関です。障がい者相談支援センターぽっぴや、障がい者自立支援センターゆーあい等と連携し、更なる相談窓口の充実に努めていきます。
- ご自身や家族の介護、子育て、生活費、ひきこもりのことなど、年齢や障がいの有無を問わず、生活の中での困りごとの相談に対応するため、三鷹市内全7地区に、各1名の「地域福祉コーディネーター」を配置しました。【令和6年4月から】

さら しょう ふくししやく じゅうじつ
更なる 障がい福祉施策の 充 実 のため

かいとう きょうりよく
アンケートの回答にご 協 力 ください。

- このアンケートの回答に要するおおよその時間は30～45分です。
- このアンケートは統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。
- 回答したくない質問や、回答しづらい質問がありましたら、その質問を飛ばしていただいてもかまいません。

おもて



三鷹市

生活と福祉についてのアンケート

ご協力のお願い

三鷹市では、「誰もが安心して暮らせる健康・福祉のまち」になるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。

この度、障がいのある方や保護者の方の今の生活状況や困りごと、福祉サービスに対する要望などを聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすことを目的に、アンケートを行うこととしました。

障がいの有無によって分け隔てられることなく、個性を尊重し、支え合いながら暮らせるまちづくりのため、本アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和7年9月 三鷹市長 河村 孝



パソコン・スマートフォンなど
WEBフォームで回答

どちらかを
えら
選んでください

調査票に記入し
郵送で回答



- ① 2次元コードを読み取るか、下記のURLを入力、または三鷹市ホームページから回答フォームにアクセスしてください



<https://www15.webcas.net/form/pub/kmci/〇〇>

三鷹市ホームページ > 〇〇 >

- ② **調査票に書かれたログインIDとパスワード**を入力してください。
- ③ 画面に従って回答し、最後に「回答を送信」してください。

- ① 調査票に回答を記入してください。
- ② 返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポストに投函してください。
- ※ 調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。



令和7年 **9** 月 **30** 日 までに
「回答を送信」または「ポストに投函」してください。

【アンケートに関するお問い合わせ先】三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課

電話：0422-29-9232／ファクス：0422-47-9577／メール：shien@city.mitaka.lg.jp

令和4年度に実施したアンケート結果を障がい福祉施策に活かしています！

アンケート結果から、約3人に1人が、過去1年間に障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあることがわかりました。

New

障がいについて、みんなが理解できるようにしていきます。

- 福祉サービス事業所での活動の様子を紹介するパネル展示を始めます。【令和7年度から】
- 市内在住の方を対象に、ヘルプマークの配布を始めました。【令和6年10月から】
- 障害者週間に合わせ、イベントの周知と、障がい理解に関する記事を市報の特集面で掲載しました。【令和5年度から】



ヘルプマーク



広報みたか: 令和6年11月17日号

アンケート結果から、お子さんを主にケアしている方のうち、約4人に1人が、どこに相談したらよいのかわからず、困ったことがあることがわかりました。

New

もっと相談しやすく、安心して暮らしやすいまちにします。

- 基幹相談支援センターは、障害者総合支援法に基づき、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関です。障がい者相談支援センターぽっぴや、障がい者自立支援センターゆーあい等と連携し、更なる相談窓口の充実に努めていきます。
- ご自身や家族の介護、子育て、生活費、ひきこもりのことなど、年齢や障がいの有無を問わず、生活の中での困りごとの相談に対応するため、三鷹市内全7地区に、各1名の「地域福祉コーディネーター」を配置しました。【令和6年4月から】

更なる障がい福祉施策の充実のため アンケートの回答にご協力ください。

- このアンケートの回答に要するおおよその時間は30～45分です。
- このアンケートは統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。
- 回答したくない質問や、回答しづらい質問がありましたら、その質問を飛ばしていただいてもかまいません。

おもて



生活と福祉についてのアンケート

ご協力をお願い

三鷹市では、「誰もが安心して暮らせる健康・福祉のまち」になるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。

この度、現在、病院に入院している方々に、退院のことや将来の希望などについて聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすことを目的に、アンケートを行うこととしました。

障がいの有無によって分け隔てられることなく、個性を尊重し、支え合いながら暮らせるまちづくりのため、本アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和7年9月 三鷹市長 河村 孝

回答方法

- ① 調査票に回答を記入してください。
- ② 返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポストに投函してください。



令和7年 **9** 月 **30** 日 までに
「ポストに投函」してください。

【アンケートに関するお問い合わせ先】三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課

電話：0422-29-9232／ファクス：0422-47-9577／メール：shien@city.mitaka.lg.jp

令和4年度に実施したアンケート結果を障がい福祉施策に活かしています！

アンケート結果から、病院からの退院を希望している人のうち、約4人に1人が、退院にあたって住む場所のことを心配していることがわかりました。

入居支援・居住継続支援の充実を図ります。

New

- 三鷹市障がい者自立支援センターゆー・あいで行っている入居支援・居住継続支援事業について、民間賃貸住宅の利用を希望される方が、より相談しやすくなるよう、対象者の要件を見直しました。【令和6年4月から】



三鷹市では、病院に入院している方々の
地域生活への移行に向けた様々な取り組みを進めています。



【地域移行に関するお問い合わせ先】

三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課 基幹相談支援センター担当

〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

電 話 (0422)29-8267 / ファクス (0422)47-9577

Eメール shien@city.mitaka.lg.jp

※ 午前8時30分～午後5時まで(土曜日・日曜日・祝日を除く)

更なる障がい福祉施策の充実のため アンケートの回答にご協力ください。

- このアンケートの回答に要するおおよその時間は20～30分です。
- このアンケートは統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。
- 回答したくない質問や、回答しづらい質問がありましたら、その質問を飛ばしていただいてもかまいません。
- ご本人の状況・ご意向によってお名前などを記入いただく箇所がありますが、必ず記入しないといけないものではありません。

おもて



生活と福祉についてのアンケート

ご協力をお願い

三鷹市では、「誰もが安心して暮らせる健康・福祉のまち」になるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。

この度、現在、施設に入所している方々に今の生活状況や困りごと、将来の希望などを聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすことを目的に、アンケートを行うこととしました。

障がいの有無によって分け隔てられることなく、個性を尊重し、支え合いながら暮らせるまちづくりのため、本アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和7年9月 三鷹市長 河村 孝

回答方法

- ① 調査票に回答を記入してください。
 - ② 返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポストに投函してください。
- ※ 調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。



令和7年 9 月 30 日 までに
「ポストに投函」してください。

【アンケートに関するお問い合わせ先】三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課

電話：0422-29-9232／ファクス：0422-47-9577／メール：shien@city.mitaka.lg.jp

令和4年度に実施したアンケート結果を 障がい福祉施策に活かしています！

アンケート結果から、約6割の人が、障がいがある人が地域で生活していくためには、地域の人たちの障がいに対する理解を深めることが必要であると思っていることがわかりました。

New 障がいについて、みんなが理解できるようにしていきます。

- 福祉サービス事業所での活動の様子を紹介するパネル展示を始めます。【令和7年度から】
- 市内在住の方を対象に、ヘルプマークの配布を始めました。【令和6年10月から】
- 障害者週間に合わせ、イベントの周知と、障がい理解に関する記事を市報の特集面で掲載しました。【令和5年度から】



ヘルプマーク



広報みたか：令和6年11月17日号

三鷹市では、施設入所している方々の地域生活への移行に向けた様々な取り組みを進めています。

【地域移行に関するお問い合わせ先】

三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課 基幹相談支援センター担当

〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

電話 (0422)29-8267 / ファクス (0422)47-9577

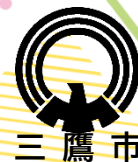
Eメール shien@city.mitaka.lg.jp

※ 午前8時30分～午後5時まで(土曜日・日曜日・祝日を除く)



更なる障がい福祉施策の充実のため
アンケートの回答にご協力ください。

- このアンケートの回答に要するおおよその時間は20～30分です。
- このアンケートは統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。
- 回答したくない質問や、回答しづらい質問がありましたら、その質問を飛ばしていただいてもかまいません。



生活と福祉についてのアンケート

ご協力をお願い

三鷹市では、「誰もが安心して暮らせる健康・福祉のまち」になるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。

この度、障がいのある方や保護者の方の今の生活状況や困りごと、福祉サービスに対する要望などを聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすことを目的に、アンケートを行うこととしました。

障がいの有無によって分け隔てられることなく、個性を尊重し、支え合いながら暮らせるまちづくりのため、本アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和7年9月 三鷹市長 河村 孝

パソコン・スマートフォンなど
WEBフォームで回答

どちらかを
えら
選んでください

調査票に記入し
郵送で回答



- ① 2次元コードを読み取るか、下記のURLを入力、または三鷹市ホームページから回答フォームにアクセスしてください



<https://www15.webcas.net/form/pub/kmci/〇〇>

三鷹市ホームページ > 〇〇 >

- ② 調査票に書かれたログインIDとパスワードを入力してください。
- ③ 画面に従って回答し、最後に「回答を送信」してください。

- ① 調査票に回答を記入してください。
 - ② 返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポストに投函してください。
- ※ 調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。



令和7年 9 月 30 日 までに
「回答を送信」または「ポストに投函」してください。

【アンケートに関するお問い合わせ先】三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課

電話：0422-29-9232／ファクス：0422-47-9577／メール：shien@city.mitaka.lg.jp

令和4年度に実施したアンケート結果を障がい福祉施策に活かしています！

アンケート結果から、約3人に1人が、過去1年間に障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあることがわかりました。

New

障がいについて、みんなが理解できるようにしていきます。

- 福祉サービス事業所での活動の様子を紹介するパネル展示を始めます。【令和7年度から】
- 市内在住の方を対象に、ヘルプマークの配布を始めました。【令和6年10月から】
- 障害者週間に合わせ、イベントの周知と、障がい理解に関する記事を市報の特集面で掲載しました。【令和5年度から】



ヘルプマーク



広報みたか：令和6年11月17日号

アンケート結果から、約4割の人が、利用したい障がい福祉サービスを希望日時に使えないことで困っていることがわかりました。

New

施設整備を進め、もっと障がい福祉サービスを利用しやすくします。

- 調布基地跡地福祉施設整備として、重症心身障がいや重度知的障がいのある人を主な対象とした2施設の整備を、令和8年4月の開設に向けて、事業者・東京都・府中市及び調布市と連携し進めています。



更なる障がい福祉施策の充実のため アンケートの回答にご協力ください。

- このアンケートの回答に要するおおよその時間は 30～45 分です。
- このアンケートは統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。
- 回答したくない質問や、回答しづらい質問がありましたら、その質問を飛ばしていただいてもかまいません。



三鷹市

おもて

生活と福祉についてのアンケート

きょうりよく ねが ご協力をお願い

三鷹市では、「誰もが安心して暮らせる健康・福祉のまち」になるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。

この度、障がいのある方の今の生活状況や困りごと、福祉サービスに対する要望などを聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすことを目的に、アンケートを行うこととしました。

障がいの有無によって分け隔てられることなく、個性を尊重し、支え合いながら暮らせるまちづくりのため、本アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和7年9月 三鷹市長 河村 孝

かいとうほうほう 回答方法

- ① 調査票に回答を記入してください。
 - ② 返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポストに投函してください。
- ※ 調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。



※音声読み上げ用にテキスト形式の調査票を希望される場合は、件名を「生活と福祉アンケートテキスト調査票希望」とし、本文を空欄で障がい者支援課 (shien@city.mitaka.lg.jp) まで「メール」を送信してください



令和7年 9 月 30 日 までに

「ポストに投函」してください。

【アンケートに関するお問い合わせ先】三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課

電話：0422-29-9232／ファクス：0422-47-9577／メール：shien@city.mitaka.lg.jp

令和4年度に実施したアンケート結果を 障がい福祉施策に活かしています！

アンケート結果から、約5人に1人が、過去1年間に障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあることがわかりました。

New 障がいについて、みんなが理解できるようにしていきます。

- 福祉サービス事業所での活動の様子を紹介するパネル展示を始めます。【令和7年度から】
- 市内在住の方を対象に、ヘルプマークの配布を始めました。【令和6年10月から】
- 障害者週間に合わせ、イベントの周知と、障がい理解に関する記事を市報の特集面で掲載しました。【令和5年度から】



ヘルプマーク



広報みたわ：令和6年11月17日号

障がいがある65歳以上の方のうち、約2割の方が賃貸住宅に住んでいることがわかりました。

New 入居支援・居住継続支援の充実を図ります。

- 三鷹市障がい者自立支援センターゆー・あいで行っている入居支援・居住継続支援事業について、民間賃貸住宅の利用を希望される方が、より相談しやすくなるよう、対象者の要件を見直しました。【令和6年4月から】



更なる障がい福祉施策の充実のため
アンケートの回答にご協力ください。

- このアンケートの回答に要するおおよその時間は30～45分です。
- このアンケートは統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。
- 回答したくない質問や、回答しづらい質問がありましたら、その質問を飛ばしていただいてもかまいません。